

株式会社SEプラス 御中

リアルタイム板書アプリ SEPLUS 2024

2024年6月28日



TOHYO TOKYO

[目次]

01	アプリ概要	1
02	スケジュール	2
03	ペルソナ人物像詳細	3
04	アプリ詳細内容	4
05	リリースについて	5
06	品質管理	6
07	マーケティングと広報	7
08	予算と費用	8
09	導入から期待される効果	9
10	補足資料	10

01 アプリの概要

本アプリケーションは、講師と受講者のコミュニケーションの円滑化を目的としたアプリケーションである。

ユーザーフレンドリーな仕様を心掛けることにより、受講生をはじめとした顧客満足度の大きな向上を目指します。

本アプリの背景

- 遠隔の講義が増加する中、講師と受講生のリアルタイムなコミュニケーションと理解度の把握が重要になっています。
- そこで、遠隔講義の質を向上させるためのアプリケーションを提案します

本アプリの目的

- 本アプリケーションの目的は、講師がリアルタイムで受講生の理解度を把握し、適切なフィードバックを提供することで、遠隔講義の効果を最大化することです。

本アプリの特徴

- ウェビナー講師の板書を受講生にリアルタイムで反映させ、一部内容に印をつけることができます。
- 印のつけられた内容に対してコメントをすることができます。
- 過去の板書の履歴を単体のアプリで閲覧できる。

対象利用者

- 遠隔講義を提供している企業。
- 遠隔講義を担当している講師。
- 遠隔講義を受講している受講生。

開発スケジュール



2024年6月3日～6月27日



SEプラスオンラン及び実地



リアルタイム板書アプリ



Ajax / サーバーサイドJava / Java / JavaScript / CSS

02 スケジュール

アプリ開発までのスケジュールは以下の通りです。

スケジュール	アクティビティ
6/3	イントロダクション
6/7	白紙化。振り出しに戻る。
2週目	内部設計書・外部設計書を作成
3週目	データベースの作成
4週目	プログラミング開始
5週目	最終確認と調整
発表開催日	企画発表・成果報告
発表終了後	振り返りと評価

スケジュール詳細

	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目
イントロダクション・白紙化					
内部設計書・外部設計書					
データベース作成					
プログラミング開始					
最終準備とイベント当日					

03 ペルソナ人物像詳細

ペルソナの人物の詳細情報です。

ひぐち ひさお

樋口 久雄 25歳 男性

東京都(世田谷)在住

職業：転職⇒(現)遠隔講義の講師

収入：450万円

学歴：大卒

家族：両親と妹2人 一人暮らし

特徴：人と会話することが得意で人付き合いも好き。
しかし最近は転職して遠隔講義の講師になったことから
直接的な人との関わりが減少して不安に感じている。



【エピソード(生い立ち・近年)】

職歴：1度転職したことがある。

介護職から現在の遠隔講義の講師をしている。

現在の職には就いたばかりであるため、駆け出し。

仕事：在宅で就業時間は17:30

人間関係：上司との方が打ち解けやすい⇒自分より年下の人とは関わりにくい
人間関係の構築が好き。

住居：世田谷で一人暮らし

趣味：仕事の昼食時間に散歩、週一のサーフフィン、プロレス鑑賞。猫。

【欲求】

受講生とのコミュニケーションがとりにくいこと

講義の進捗スピードが分かりづらいこと

共通の話題がない

怖がられる

承認欲求が強い

オンラインでの交流に違和感

04 アプリ詳細内容

本アプリケーションの機能についての説明になります。

1

ログイン機能

画面推移

新規登録画面：講師用と受講生用で異なる。
ログイン画面：講師用と受講生用で同様。
⇒アカウント情報で講師用と受講生用其々の画面に遷移する。

2

板書機能

画面推移なし ajax

講師側：板書の書き込み、ページ切り替え
生徒側：板書の閲覧

3

マーカー機能

画面推移なし ajax

講師側：板書側の文章をもとにマーカーを引いて理解度を生徒側に求めることができる。
生徒側：理解度を送信して答えられる。

4

コメント機能

画面推移なし ajax

コメントを送信することができる。
マーカーを選択された部分にコメントを付けることも可能。

5

履歴機能

画面推移なし ajax

履歴ページ(板書履歴 選択一覧)：日付を選択
履歴ページ(板書一覧)：選択日付毎の内容を確認可能

05 リリースについて

リリーススケジュールについては以下の通りです。

タイトル	くらすボード
利用場所	PLUS DOJO (SEプラスオンライン研修)
開発	チームKnight
ジャンル	リアルタイム板書アプリ
リリース予定日	2025/4/3 運用開始予定

リリーススケジュール

2024/6	開発開始
2024/7	ベータ版リリース
2024/9	フォローアップ研修にてベータテスト
2025/1	正規版リリース
2025/4	運用開始

06 品質管理

品質管理については以下の通りです。

※ 講師側と受講生側のそれぞれの担当者が同時に以下テストを実施

基本機能

新規登録

入力データ登録後処理の確認

ログイン

入力値に応じた処理の反応確認

特徴的な機能

板書画面

- | | | |
|---------|----------------|--------------|
| ・ 初期表示 | ・ 板書(テキスト) | ・ 板書(マーカー) |
| ・ 非ログイン | ・ 板書(テキスト)(構文) | ・ 板書(全体コメント) |
| | | ・ ページリロード |

板書履歴

- | | |
|-----------|---------|
| ・ 初期表示 | ・ 非ログイン |
| ・ ページリロード | |

過去板書履歴

- | | |
|-----------|---------|
| ・ 初期表示 | ・ 非ログイン |
| ・ ページリロード | |

07 マーケティングと広報

宣伝・広告戦略は以下の通りです。



顧客企業へのアピール

「研修中に受講生が開発したアプリケーションを元になっている」というインパクト。

「初学者でも高品質なアプリケーションを開発できるほどになる」という研修の質の高さをアピールできる。



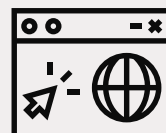
SNS活用

SEプラスが持つYOUTUBEチャンネルを始めとして様々なSNSでデモ映像を公開することで実際の利用イメージを企業に伝えられる。



フォロー

自社による板書アプリの作成により、学生や講師陣へのフォローが可能に。コース終了時のアンケート内容を反映しやすくなり、すべてのユーザーの反映を柔軟に改善していくことが可能。



WEBサイト

ブラウザ上で作動するため、ホームページ上にて当アプリケーションを再現したものを提示可能。

様々なアピールポイントにより、講義の質の向上のみならず研修そのものの宣伝へとつながります。

08 予算と費用

イベントの予算概要と収入と支出の見積もりは以下の通りです。

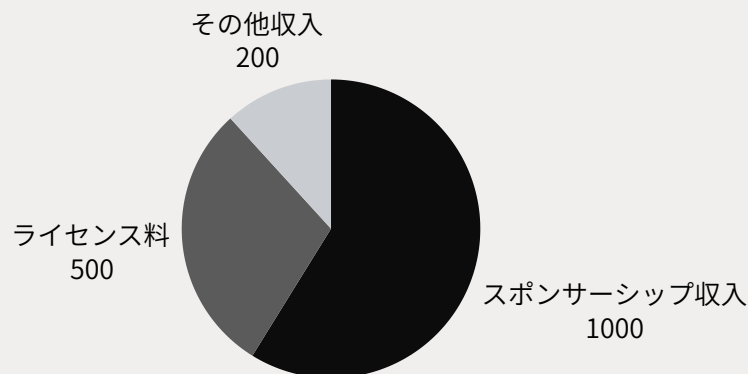
※新人プログラマ6人で開発期間を一か月として算出

今回の開発の予算概要

総予算	1,600,000円
収入予想	2,000,000円
支出見積もり	1,527,000円

収入と支出の見積もり内訳（単位：千円）

収入の見込み



支出の見積もり

Sorry, we couldn't load this chart.

09 導入から期待される効果

本アプリ導入時に期待される効果についての説明になります。

現状

👤 講師：受講生の現状が直接的に伝わりにくく、
認識のずれが発生しやすい状態

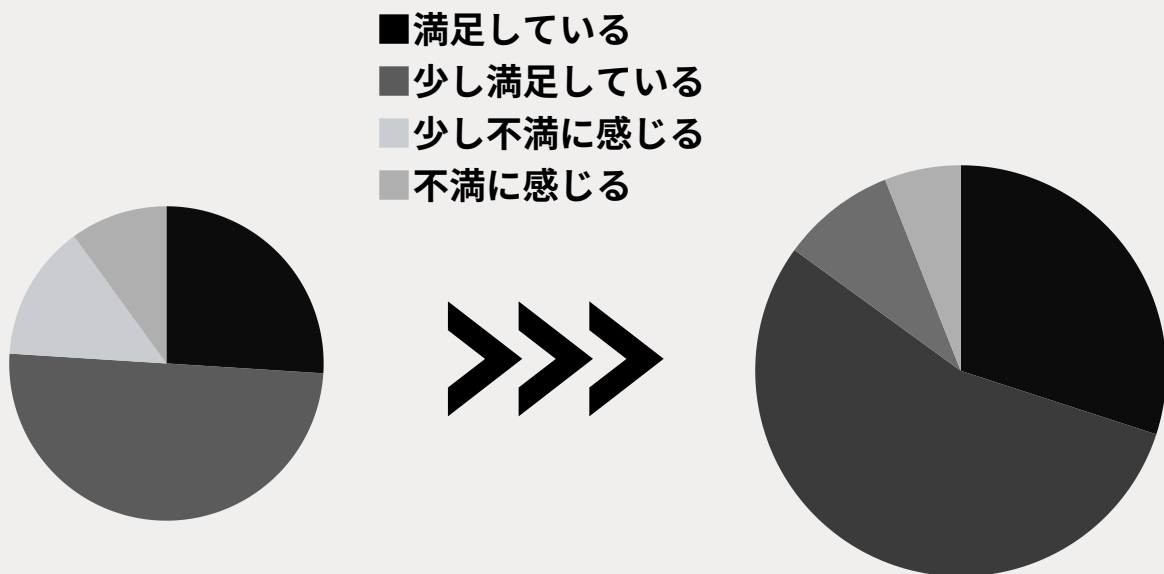
🎓 受講生：ウェビナー講師へ直接伝えたい意図を伝えることが難しい状態

期待される効果

- ・ 本アプリ1つでウェビナー講師と受講生のコミュニケーション向上
- ・ 1日ごとの板書を確認可能

現状からの変化

顧客満足度



満足している・少し満足している

76%



85%

Q

受講生ページから、板書内容を書き込んだり、マーカーを設定できませんか？

A

はい、受講生画面からは書き込むことはできません。

Q

過去の板書の内容を書き換えたいです。

A

板書切り替えをした時点で以前の板書に加筆はできなくなります。
過去の板書の内容は板書履歴から確認できます。

Q

複数の講師で一つの板書データを使いまわすことは可能ですか？

A

本アプリケーションはウェビナー講師の利用を想定しています。
一つの板書に書き込めるのは一人です。

Q

板書画面上部にある格言は誰のものですか？

A

格言は様々な業界の偉人たちのものを採用していますが、
半分は矢沢講師が仰っていたものです。

Q

アプリはどの媒体で利用できますか？

A

パソコンのブラウザ上で動作します。
スマートフォンでの利用は想定されていません。

Q

理解度の登録内容は匿名ですか？

A

はい、匿名です。

Q

これってネタですか？

A

本気で考えました！ぜひ採用を！



担当 赤澤 秋山 伊藤 斎田 佐藤 土田

〒123-4567 投票願通り 1 丁目 2 - 3 票田イレテーネ20階

☎01-2345-6789

✉SAMPLE@blackboard.co.jp



TOHYO TOKYO